

トビイロウンカ警報発令 8月24～30日にほ場確認、5頭/株で防除

1 生育等の状況

- 多くのほ場でトビイロウンカの防除が必要となっています。
- 葉いもちの発生が多く、一部で、ずり込み始めたほ場があります。
- 斑点米カメムシ類の注意報が発令されました。

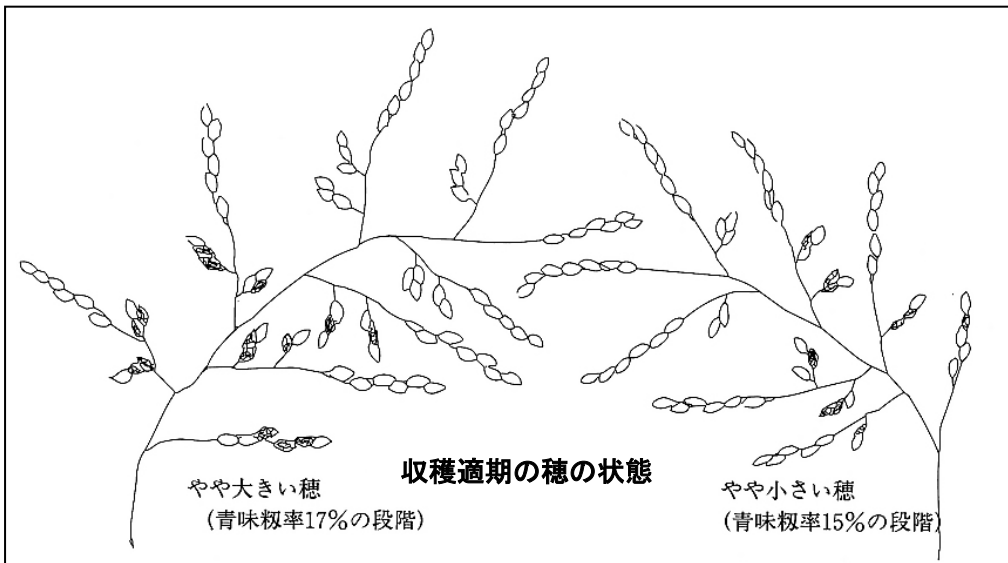
病害虫発生予報（8月13日 山口県病害虫防除所発表）

穂いもち やや多 セジロウンカ 多 コブノメイガ 多 **注意報**
紋枯病 多 トビイロウンカ 多 **警報** 斑点米カメムシ類 やや多 **注意報**

2 今後の管理のポイント

(1) コシヒカリ・ひとめぼれ

- 品質低下を防ぐため、収穫7日前まで間断かん水を行いましょう。
- 青味籾率15～10%の時期に収穫を行いましょう。
- コンバインや乾燥調製施設等の準備は早めに行いましょう。



【参考】積算気温から見た収穫適期（油谷アメダス）

	出穂期(ほ場の内、50%の穂が出た日)			
	7/28	7/30	8/1	8/3
コシヒカリ ひとめぼれ	8/30～9/1	9/1～9/3	9/3～9/5	9/6～9/8

※今後の気温や穂の形によって前後します

(2) きぬむすめ・ヒノヒカリ・あきだわら

- 出穂前20日～出穂後20日の間、カドミウム吸収抑制のため、湛水管理を行いましょう。

(3) 病害虫・雑草の管理等

- ほ場をよく観察し、葉いもちの病斑を見つけたら、速やかに防除を行いましょ。う。

特にあきだわらでは注意が必要です。



葉いもち

- トビイロウンカの警報が発令され、長門では防除が必要なほ場が多いです。本田防除後でもトビイロウンカが多いほ場があり、坪枯れ発生の恐れがあります（特に8月中下旬出穂の品種）。

8月24～30日の間にほ場を確認し、5頭/株以上ならただちに防除を行ってください。（収穫前日数を必ず守ってください。）

防除にあたっては株元に薬剤がかかる方法を選択し、丁寧に薬剤を散布してください。



トビイロウンカ成虫



8/12 油谷にて

- 斑点米カメムシ類の注意報が発令されました。大型カメムシが多く発生しています。穂揃期（穂が8割出た頃）とその7日後の防除を徹底してください。



クモヘリカメムシ
体長 15-17mm



ホソハリカメムシ
体長 9-11mm



アカスジカスミカメ
体長 4.6-6mm



イネカメムシ
体長 12-13mm

近年県内で増加中

(4) その他

- こまめに水分と休憩を取り、熱中症を予防しましょう。
- 台風で強風が予想される場合は、株の脱水を防ぐため湛水しましょう。

長門の水稻・大豆情報をタイムリーにお届けします（期間限定）

LINE「長門営農情報」

